



月刊アシスト

合格おめでとう特集号!

平成二十七年 開始!

日差しが暖かさを感じるころが多くなってきました。受験シーズンも終わりを告げ、アシストでも、新たに平成二十七年度が始まりました。受験生になった皆さん、今が「がんばるぞ」というその気持ちを持ち続けて、少しでも自分の成長を感じられる毎日を送ってくださいね。

合格者からのメッセージ

公立高校の後期入試の発表が終わり、全ての受験生の戦いが終わりました。これから同じ道をたどる後輩へのメッセージが各校舎に寄せられていますので、一部を紹介致します。

岡田 薫くん

合格高校 県立柏高校
流通経済大柏高校

自分が最後まで頑張れたのは、この塾の環境があったからです。他の塾に通っているライバルよりも、長い時間、快適な教室で勉強することができました。

夏休みが終わるまでの期間、勉強のリズムをなかなか掴むことができず、毎日毎日出される山のような宿題プリントに押しつぶされそうになりました。正直、うつ病になるかも...と思ったことも。しかし、今、思い返すと、あれを何とかこなしてきたことが、秋以降、目標に向かってただただひたむきに取り組んだ自分を作ってくれたのだと感じています。

なかなか思うように成績が伸びない時期がありました

が、人よりも早く塾に行き、人よりも遅くまで残り、やり続けました。本当に入試直前になって、ようやく自分の学力が合格ラインに届いてきたと実感できたときは、大きな自信になりました。

休み時間には、先生方はとても親身になって勉強の相談にのってくれました。たまに勉強にまったく関係ない話で盛り上がることもありましたが、とても居心地のいい塾でした。

これから受験生になる皆さんには、今、できることを一杯がんばってほしいと思います。今はつらいかもしれませんが、あとで「あのときがんばって置いて、本当に良かった」と必ず感じるようになります。

最後に、お世話になった先生方、本当に感謝しています。ありがとうございます。



合格の桜、咲き乱れ! さあ、次は君の番だ!

次回からも、各校舎に届いたメッセージを紹介いたします。乞うご期待!

中三生諸君!

三月六日(金)よりアシスト各校舎で、新年度がスタートしました。常盤平では、中三のほとんどの生徒さんが英語の授業を受けました。

授業が終わったときの生徒さんたちの表情を言葉で表すならば「やっと解放される」でしょうか(笑)

確かに今までは違い、時間内にこなさなければならぬ量もグッと増え、確認テストも一筋縄ではいけなくなりましたね。

今までであれば、居残りがあっても十分、十五分ほど済んでいたものが、その日はほぼ全員が一時間近く残っていました。

しかし、受験生とはそういうものです。まだ見ぬライバルたちを押しつけて、合格を勝ち取らなければならないの

です。今までと同じようにやっています、ダメなのです。今回寄せられたメッセージの中にもありましたね。「押しつぶされそうになったけど、何とかこなしたことが力になった」と。

自分の限界を一步越えることで、自分の可能性が広がっていきます。その一步を踏み出せるのは、自分自身しかいないのです。

受験勉強を通して、そして志望校の合格を通して、自分の無限の可能性を感じてくれることを、心より願っています。

相談コーナー

教室担当者にご相談にいくことや、塾全体へのご意見ご要望は本部へお電話下さい。なお、生徒さんの学習相談、欠席連絡、科目変更、各種費用等のお問い合わせは、お通いの教室にお願いします。

新・個別指導アシスト 本部
047(346)2622
平日 午前十時~午後六時